

つまり、人に見られようが見られまいが、どっちに転んでも情報発信の習慣はあなたを効果的に成長させてくれるのです。

それならやらない理由はないということです。

▼▼▼ 2. 夢見るリアリストの一週間 ▼▼▼

◇6/1(日)-7(土)

・週の前半は先週行ったサバイバルゲームの後遺症として、身が引き裂かれるくらいの筋肉痛に見舞われ、ひどく不自由な生活を強いられました。はやくもう一回行きたいです。あなたもご都合あえばご一緒しましょう :^]

・今週音楽に割けた時間は 6.7%(11.25 時間)で、制作した曲数は 3 曲でした。時間はだいたいいつも通りですが、曲数がいつもより少なめです。今は量をこなす時期と決めていますので、もっと曲数を増やしたいところです。ちなみに 3 月からの制作曲数は 70 を超えたところ。楽曲は jMatsuzaki Factory(<http://factory.jmatsuzaki.com/>)のトップページ内にある「PLAYLIST」から聴けます。

・ブログの記事数も増やそうとしており、ほぼ毎日ペースで jMatsuzaki ブログを更新しています。ブログの更新頻度を上げるとブログの更新意欲もモリモリと湧いてきて、スムーズに毎日更新できるようになるのが毎回不思議です :^]

・「さあ、才能(じぶん)に目覚めよう」(<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/asin/4532149479/jmatsuzaki-22/>)を読んで、ストレンクス・ファインダーなるテストを受けました。これは 20 分くらいの選択式のテストを受けることで、自分の強みを分析してくれるテストです。書籍を買ってアクセスコードがついてきてテストを受けられるようになっています。私の強みはこの 5 つでした→「未来志向」「戦略性」「目標志向」「最上志向」「責任感」。本の考え方もテストも実に面白いのでオススメです。

・ご縁があり、チーム作業の際にいつも便利に使わせてもらっている「ChatWork」(<https://www.chatwork.com/>)のオフィスに訪問させて頂きました。オフィスは嫉妬するくらいお洒落でしたし、シリコンバレーに居る CEO と ChatWork でビデオ会議したりと、実にエキサイティングでした。自分が普段使っているサービスがどんなオフィスで作られているか見るのは楽しいイベントです >:^)

▼▼▼ 3. Burning! な名記事「私はいかにして過去の挫折から再起したか？」 ▼▼▼

“「好きなことはできなくて、好きじゃないことはできる”。そんなのは御免だ。間違ってる。もしそうなら、死んだも同然だ！私は「好きなことだけをやって、好きじゃないことは一切やらない”。そうあるべきだ。そうじゃなきゃ、この世界は間違ってる！」と。

その日、私が私自身に強烈な“怒り”のパワーをぶつけたとき。そして、私の心に初めて情熱の炎が灯ったとき。その炎によって周囲が明るく照らし出されたとき、私はもう一度、獅子の如く勇敢に立ち上がることを決めました。”

Burned by 私はいかにして過去の挫折から再起したか？ <http://jmatsuzaki.com/comeback>

jMatsuzaki の原点はすべてここにあります。この手紙を読んでいるあなたには絶対に読んでおいてもらいたい記事です。

私の原動力は挫折であり、自分への怒りでした。今でも「時間よ過ぎ去ってくれ！」と思って布団の中に潜り込んでいた失意の日々を鮮明に思い出します。

あれほど惨めで無様な人生はありませんでした。ドストエフスキーはこの世で最も残酷な刑罰を「徹底的に無意味で無益な労働をさせること」と言いましたが、あれこそこの世で最も残酷な刑罰だったのだと思います。

なまっちろい私が苦悩の末に辿り着いたのは、「自分の人生に責任をとる」という決意でした。

そのとき、生まれて初めて、自分の人生の主人公が自分だったという当たり前のことに気づいたような気分でした。

▼▼▼結び▼▼▼

前に出したお手紙をまた読みたいですって？それは難しい要望ですね。はっきり言って不可能です、、、と言いたいところですが

このjMatsuzakiはその難しい要望に応えるために勇敢に立ち上がりました！アブラカタブラ！なんと、この手紙のバックナンバーが以下に登録することで読めるようになったのです！！

さらに、過去メルマガの公開に加えて以下のような特典も用意しています。

- ・楽曲聴き放題
- ・Q&A ボックス
- ・限定イベント開催

お申し込みについては以下をご覧ください。

▼jMatsuzaki プレミアムサポーター案内ページ

https://frekul.com/users/ps_welcome/jMatsuzaki

貴下の従順なる下僕 松崎より